

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

科学的根拠に基づくがん情報の迅速な作成と提供のための体制整備のあり方に関する研究

研究分担者 田村 和夫 日本がんサポーターティブケア学会（顧問）

研究要旨

日本がんサポーターティブケア学会は支持医療に関する17の部会と5つのワーキンググループ（WG）が活動しており、それぞれの領域における客観的な情報を集積・解析し、現時点で適正と考えられる診療ガイドを作成し公表している。2021年度は「がん治療におけるアピアランスケアガイドライン」、「がんサバイバーシップ学—がんにかかわるすべての人へ—」を発刊・公表した。国立がん研究センター・医療情報センターが作成した支持医療に関するコンテンツの査読を関連したJASCC部会で実施している。2021年度は「がんトリハビリテーション医療」について査読を行った。また「読売新聞の医療・健康・介護サイト」でがんのサポーターティブケアに関するコメントが掲載された。

A. 研究目的

支持医療領域における適正な情報を発信していくことを研究目的としている。

B. 研究方法

日本がんサポーターティブケア学会（JASCC）は支持医療に関する17の部会と5つのワーキンググループ（WG）が活動している。各部会、WGは、それぞれの領域における客観的な情報を集積・解析し、現時点で適正と考える診療ガイドを作成し公表している。JASCCと国立がん研究センター・医療情報センターは、申し合わせを交わし、医療情報提供部が作成したコンテンツの査読を関連したJASCC部会で実施してきている。また、支持医療の普及に向けてマスコミと連携して情報を発信する。

（倫理面への配慮）

COIのマネジメントは、JASCC、COI委員会を実施した。

C. 研究結果

- ・医療情報提供部が作成したコンテンツ
2021年度は、「がんトリハビリテーション医療」について査読を行った。
- ・アピアランスケアワーキンググループによる「がん治療におけるアピアランスケアガイドライン」作成
- ・サバイバーシップ部会による「がんサバイバーシ

ップ学—がんにかかわるすべての人へ—

- ・2021年1月15日より「読売新聞の医療・健康・介護サイト」でJASCC会員が中心になってシリーズでがんやがん治療に伴う心身の有害な事象について各エキスパートによるコメントが掲載された。

D. 考察

支持医療の多くの領域で十分なエビデンスが蓄積されていないため、ガイドライン作成ができていない。これまで蓄積された情報を集積・解析し、現時点でどこまで分かって、どこまで分かっていないかを整理して公表することが重要である。結果として重要な臨床的課題が抽出され、対応した臨床試験が計画・実施されることにより、質の高いエビデンスの創出につながり、適正な情報発信と診療指針の策定に結びつくものと考えられる。

JASCCのミッションに照らし、支持医療領域における適正な情報を速やかに発信するために、継続して国立がん研究センター・医療情報センターと協力して活動していく。さらに、冊子体の診療ガイド、手引書、患者向け資料公表にとどまらず、マスコミのウェブサイトを利用するなど、ITを使つての支持医療の普及は、スマートフォンさえあれば全国どこでも見られるため、一般人、患者・家族への情報提供に極めて有用であること示された。

E. 結論

支持医療領域におけるガイド・手引書の作成・公

表を行っている。さらに継続してがん情報コンテンツの改善のために国立がん研究センター・医療情報センターと協働していく。支持医療の普及にはITを使つての情報発信が有用である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

3. 書籍

- ・日本がんサポーターズケア学会編：がん治療におけるアピアランスケアガイドライン2021年版
2021年10月 金原出版
- ・高橋都/佐々木治一郎/久村和穂監訳：がんサバイバーシップ学-がんにかかわるすべての人へ-
2022年1月 メディカル・サイエンス・インターナショナル

4. その他

- ・読売新聞 yomiDr. がんのサポーターズケア
- ・柳田 素子「オンコネフロロジー 腎臓の機能を支えることでがん治療の向上を図る」
2022年3月18日
- ・湊川 紘子「がん薬物療法における薬剤師の役割」
2022年2月18日
- ・向井 幹夫「腫瘍循環器学って何？ がんと心臓病の気になる関係」 2022年1月21日
- ・安部 能成「骨転移でも車いすに移れる手段を考案 作業療法士としてがん患者を支える」
2021年12月17日
- ・上野 尚雄「がん治療に伴う口の中の困りごとをケア 患者の4割に口腔のトラブル がん治療の前に原因を除去」 2021年11月19日
- ・辻 哲也「がんのリハビリテーション 治療前の予防から末期の緩和まで 治療に伴う合併症を軽減 患者の生活の質を保つ」 2021年10月15日
- ・野澤 桂子「患者と社会の懸け橋になるアピアランスケア 脱毛や治療痕 「見た目」から生じる悩みの解決を手助け」 2021年9月17日
- ・元雄 良治「がんの支持医療に漢方を 抗がん剤

の副作用 全身倦怠感や食欲不振を改善」

2021年8月20日

- ・高橋 都「がんのサバイバーシップとは 診断された時から亡くなるまで」 2021年7月16日
- ・内富 庸介「がん患者の心を支える精神腫瘍学」
2021年6月18日
- ・清水千佳子「妊娠・出産、AYA世代の支援」
2021年5月21日
- ・平山 泰生「抗がん剤治療に伴うしびれなどの末梢（まっしょう）神経障害（CIPN）」
2021年4月16日